

建設業界人材市場動向月次レポート 2021 年 9 月

公開日：2021 年 9 月 15 日

ヒューマンリソシア株式会社 | 建設 HR 編集部

建設 HR 編集部では、建設業に特化した人材関連の様々な情報、最新の雇用関連データを月に 1 回のペースで発信していきます。ご愛読いただければ幸いです。

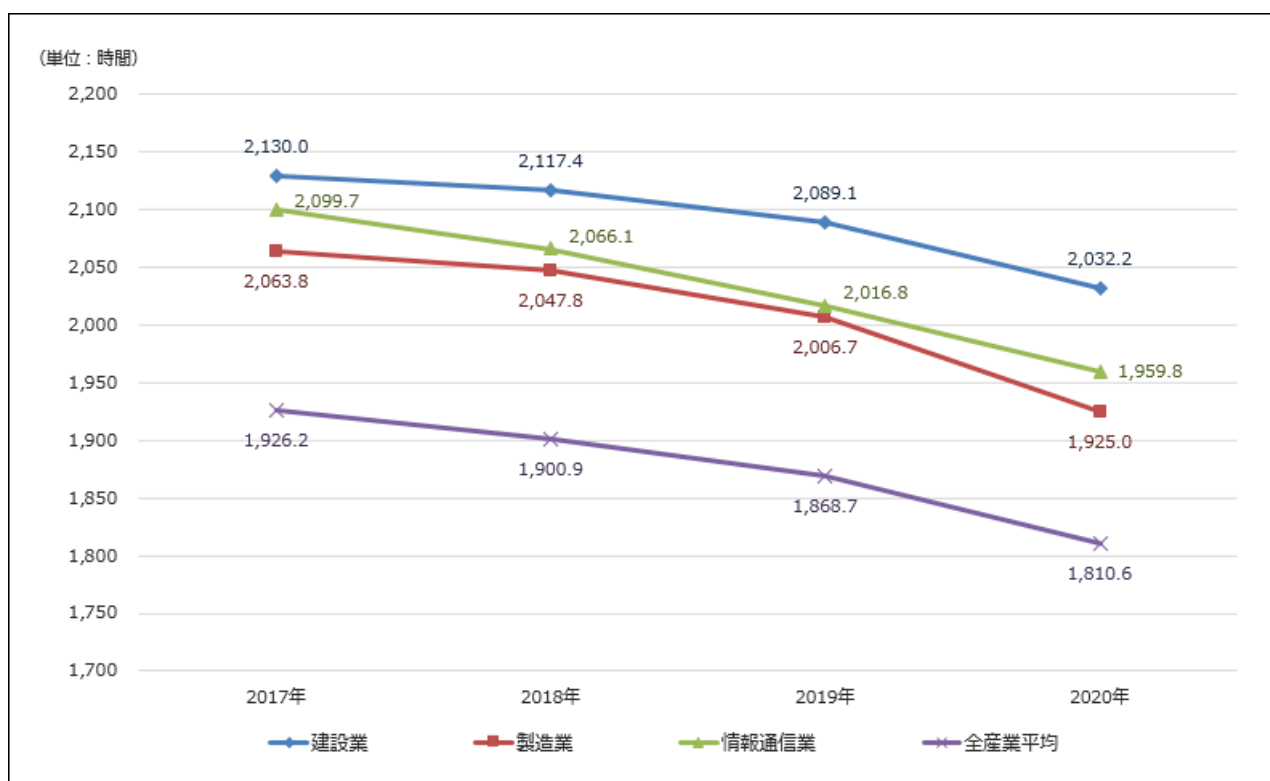
1 建設業界のトピックス

働き方改革により長時間労働の是正が進められていますが、その中で建設業での労働時間の現状はどのようになっているのでしょうか。今回は、総務省の「労働力調査」の最新データから、建設業における労働時間の実態を分析します。この調査は、世帯を対象とし、就業者自身が回答するため、事業所への調査では表れにくい「サービス残業」なども反映されるものと考えられます。

建設業の年間平均就業時間は 3 年連続で減少

総務省の労働力調査によると、建設業の年間平均就業時間は 2017 年の 2,130 時間から 3 年連続で減少し、2020 年には 2,032.2 時間となりました（図表①）。製造業、情報通信業、全産業平均いずれについても 3 年連続で減少しており、働き方改革による長時間労働の是正が進んでいることに加えて、2020 年はコロナ禍で企業活動が停滞した影響で労働時間は全体的に短縮されたと推察されます。

【図表① 産業別の平均年間就業時間の推移】



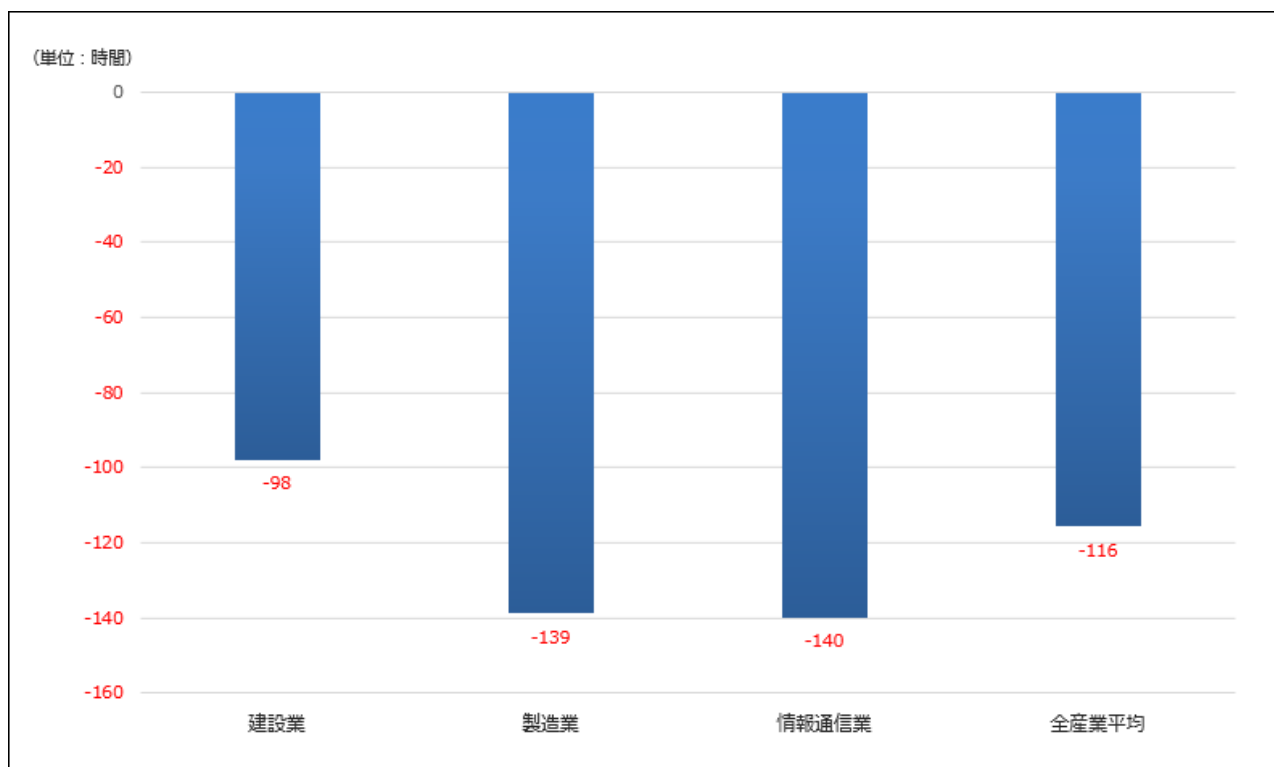
出典：総務省「労働力調査」より作成

建設業での労働時間の短縮は、製造業や情報通信業と比べて進んでいない

2020年の年間平均就業時間について、2017年比の増減をみると、建設業は98時間の減少ですが、製造業は139時間の減少、情報通信業は140時間の減少、全産業平均で116時間の減少となりました。つまり、建設業では、労働時間の短縮が製造業や情報通信業と比べると進んでいないことがわかります（図表②）。その結果として、建設業と製造業の年間平均就業時間の差は2017年の66時間から2020年には107時間に拡大しました（図表①参照）。

2024年4月には、時間外労働の罰則付き上限規制が建設業でも適用されます。今後に向けて、ICTを活用した業務の効率化やテレワークの活用等で更なる労働時間の削減を進めることができるかが、建設業にとっての大きな課題になると考えられます。

【図表② 2017年比の年間平均就業時間の減少幅】



出典：総務省「労働力調査」より作成

2021年7月の建設業界の雇用関連データ

(1) 建設業の就業者数・雇用者数・新規求人数

◆建設業の就業者数は469万人（前年同月比98.7%）、雇用者数は378万人（同98.2%）で、ともに3カ月連続で減少しました。

<建設業の就業者数と雇用者数の推移>

	2020年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建設業就業者数(万人)	475	497	504	500	505	497	482	488	499	498	484	465	469
前年同月比	96.0%	97.8%	100.4%	101.2%	98.4%	101.8%	105.0%	97.0%	97.5%	101.4%	99.6%	98.3%	98.7%
建設業雇用者数(万人)	385	399	407	408	415	413	399	400	405	406	394	382	378
前年同月比	94.4%	95.7%	98.8%	100.2%	98.8%	102.5%	105.0%	97.3%	97.6%	101.2%	98.3%	98.5%	98.2%

出典：総務省「労働力調査」より作成

◆公共職業安定所（ハローワーク）における新規求人数は72,636人（同105.1%）と8カ月連続で増加しました。

<建設業の新規求人数の推移（新規学卒者とパートを除く）>

	2021年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
新規求人数(人)	69,111	62,101	77,682	75,888	63,813	72,054	73,316	70,872	79,275	75,339	66,490	81,586	72,636
前年同月比	90.8%	94.4%	107.1%	98.4%	96.4%	107.4%	112.5%	110.7%	116.5%	118.3%	107.3%	106.4%	105.1%

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(2) 建設技術職の雇用動向

◆ハローワークにおける建築・土木・測量技術者（常用・除くパート）の有効求人倍率は前年同月を0.38ポイント上回る6.15倍になり、3カ月連続で上昇しました。

◆労働需給の先行指標となる新規求人倍率は、前年同月を1.64ポイント上回って9.80倍になり、7カ月連続で前年同月を上回りました。建設技術者の需給状況はさらに厳しくなると考えられます。

◆有効求人数は前年同月比107.1%となり、7カ月連続で増加しました。新規求人数も同106.3%と7カ月連続で増加しており、建設技術者の需要は増加傾向が鮮明となっています。

◆充足率は前年同月より0.31ポイント低下の3.35%となり、ハローワークで建設技術者を採用することは困難な状況が続いています。

*充足率 = (就職件数 / 新規求人数) × 100 (%)

<ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2020年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
新規求人数(人)	18,776	17,843	20,081	20,276	17,934	19,225	19,931	19,251	20,122	20,754	18,540	21,119	19,965
有効求人数(人)	54,881	55,673	55,929	57,438	57,471	56,583	56,435	57,541	58,647	58,993	58,360	59,536	58,769
新規求職者数(人)	2,300	1,879	2,023	2,138	1,770	1,647	2,057	1,958	2,444	3,435	2,030	2,037	2,038
有効求職者数(人)	9,510	9,635	9,809	9,799	9,510	9,039	9,048	9,067	9,738	10,755	10,619	10,341	9,563
新規求人倍率	8.16	9.50	9.93	9.48	10.13	11.67	9.69	9.83	8.23	6.04	9.13	10.37	9.80
有効求人倍率	5.77	5.78	5.70	5.86	6.04	6.26	6.24	6.35	6.02	5.49	5.50	5.76	6.15
就職件数	687	639	743	776	705	620	543	600	860	806	727	751	668
充足率	3.66%	3.58%	3.70%	3.83%	3.93%	3.22%	2.72%	3.12%	4.27%	3.88%	3.92%	3.56%	3.35%

<ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	2020年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
新規求人数	90.4%	94.0%	101.4%	93.7%	94.5%	97.7%	112.2%	108.6%	110.5%	124.3%	110.3%	106.2%	106.3%
有効求人数	91.5%	94.6%	95.3%	96.0%	95.8%	96.2%	101.5%	105.5%	110.5%	113.6%	114.9%	112.9%	107.1%
新規求職者数	102.0%	97.7%	104.6%	98.3%	97.2%	97.7%	91.0%	100.6%	106.4%	112.1%	100.2%	90.8%	88.6%
有効求職者数	107.1%	111.5%	115.1%	115.1%	116.3%	115.3%	111.6%	110.6%	112.0%	113.8%	113.4%	109.1%	100.6%
新規求人倍率	-1.05	-0.37	-0.32	-0.46	-0.29	-0.00	1.84	0.73	0.31	0.59	0.83	1.50	1.64
有効求人倍率	-0.98	-1.03	-1.19	-1.16	-1.29	-1.24	-0.62	-0.31	-0.09	-0.01	0.07	0.20	0.38
就職件数	86.1%	86.2%	96.0%	96.8%	95.0%	93.7%	98.9%	94.0%	101.1%	111.9%	118.2%	99.1%	97.2%
充足率	-0.18%	-0.32%	-0.21%	0.12%	0.02%	-0.14%	-0.37%	-0.48%	-0.40%	-0.43%	0.26%	-0.25%	-0.31%

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(3) 建設技能工の雇用動向

- ◆ハローワークにおける建設・採掘の職業（常用・除くパート）の有効求人倍率は、前年同月を 0.05 ポイント上回る 5.42 倍となり、3 カ月連続で上昇しました。
- ◆労働需給の先行指標となる新規求人倍率は、前年同月を 0.02 ポイント下回る 7.55 倍と、僅かながら低下に転じました。
- ◆有効求人数は前年同月比 106.4%となり、11 カ月連続で前年同月を上回りました。新規求人数も同 104.7%と 11 カ月連続で前年同月を上回り、企業の求人意欲は上昇傾向が続いています。
- ◆充足率は前年同月より 1.18 ポイント低下の 5.85%となり、ハローワークで建設技能工を採用することは困難な状況が続いています。

<公共職業安定所（ハローワーク）における建設・採掘の職業の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2020年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
新規求人数(人)	37,340	33,659	41,368	41,112	34,800	38,587	39,867	38,684	42,879	40,147	35,882	43,766	39,103
有効求人数(人)	110,004	109,216	110,974	114,603	115,020	112,531	111,756	115,758	119,951	119,919	117,044	118,056	117,062
新規求職者数(人)	4,935	4,190	4,473	4,791	4,123	4,051	5,340	4,983	6,155	6,411	4,628	5,003	5,177
有効求職者数(人)	20,482	20,403	20,657	20,873	20,236	19,520	20,204	20,757	22,496	23,536	22,588	22,002	21,610
新規求人倍率	7.57	8.03	9.25	8.58	8.44	9.53	7.47	7.76	6.97	6.26	7.75	8.75	7.55
有効求人倍率	5.37	5.35	5.37	5.49	5.68	5.76	5.53	5.58	5.33	5.10	5.18	5.37	5.42
就職件数	2,623	2,325	2,429	2,658	2,408	2,148	1,952	2,259	2,849	2,777	2,476	2,620	2,287
充足率	7.02%	6.91%	5.87%	6.47%	6.92%	5.57%	4.90%	5.84%	6.64%	6.92%	6.90%	5.99%	5.85%

<公共職業安定所（ハローワーク）における建設・採掘の職業の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	2020年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
新規求人数	94.5%	98.6%	109.0%	102.9%	100.5%	111.9%	118.6%	114.6%	119.4%	115.7%	105.0%	108.6%	104.7%
有効求人数	98.3%	99.4%	100.7%	103.4%	103.7%	104.7%	109.9%	114.9%	117.6%	116.6%	113.9%	109.7%	106.4%
新規求職者数	97.3%	94.3%	95.9%	101.4%	97.7%	100.5%	98.9%	108.4%	116.5%	106.0%	99.4%	93.3%	104.9%
有効求職者数	102.4%	106.5%	109.0%	111.5%	112.5%	112.1%	110.6%	112.6%	115.2%	117.2%	113.4%	107.6%	105.5%
新規求人倍率	-0.22	0.35	1.11	0.12	0.24	0.97	1.24	0.41	0.17	0.52	0.41	1.24	-0.02
有効求人倍率	-0.23	-0.38	-0.44	-0.43	-0.49	-0.41	-0.04	0.11	0.11	-0.02	0.02	0.10	0.05
就職件数	91.3%	100.6%	94.2%	102.6%	101.5%	97.8%	101.0%	107.0%	109.7%	111.9%	110.2%	94.8%	87.2%
充足率	-0.25%	0.14%	-0.92%	-0.02%	0.07%	-0.80%	-0.85%	-0.41%	-0.58%	-0.24%	0.32%	-0.87%	-1.18%

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

3 2021年7月の雇用関連データのまとめ

(1) 主要な雇用環境指標の推移

◆就業者数、雇用者数ともに4カ月連続で増加

就業者数は6,711万人（前年同月比56万人増）、雇用者数は5,992万人（同50万人増）となり、ともに4カ月連続で増加しました。就業率は60.8%で同じく4カ月連続で前年同月を上回りました。

◆完全失業者数は18か月ぶりに減少に転じる

完全失業率（季節調整値）は前月より0.1ポイント改善して2.8%となり、完全失業者数は18か月ぶりに減少に転じて、前年同月比6万人減の191万人となりました。

【主要雇用環境指標の推移】

	2020年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
15歳以上人口(万人)	11,086	11,077	11,085	11,076	11,073	11,059	11,065	11,054	11,048	11,045	11,058	11,050	11,046
対前年同月増減(万人)	-10	-14	-7	-21	-24	-26	-21	-29	-36	-35	-26	-36	-40
労働力人口	6,852	6,882	6,899	6,910	6,902	6,860	6,834	6,840	6,837	6,866	6,879	6,898	6,902
対前年同月増減(万人)	-36	-26	-37	-41	-11	-23	-12	-10	-39	49	25	33	50
就業者数(万人)	6,655	6,676	6,689	6,694	6,707	6,666	6,637	6,646	6,649	6,657	6,667	6,692	6,711
対前年同月増減(万人)	-76	-75	-79	-93	-55	-71	-50	-45	-51	29	11	22	56
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	60.0%	60.3%	60.3%	60.4%	60.6%	60.3%	60.0%	60.1%	60.2%	60.3%	60.3%	60.6%	60.8%
対前年同月増減	-0.6%	-0.6%	-0.7%	-0.7%	-0.4%	-0.5%	-0.3%	-0.2%	-0.3%	0.5%	0.2%	0.4%	0.7%
雇用者数(万人)	5,942	5,946	5,961	5,998	6,017	5,984	5,973	5,983	5,967	5,945	5,950	5,980	5,992
対前年同月増減(万人)	-92	-79	-56	-48	-29	-59	-44	-43	-42	22	30	51	50
完全失業者数(万人)	197	206	210	215	195	194	197	194	188	209	211	206	191
対前年同月増減(万人)	41	49	42	51	44	49	38	35	12	20	13	11	-6
完全失業率(%)	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.0%	3.0%	2.9%	2.9%	2.6%	2.8%	3.0%	2.9%	2.8%

出典：総務省統計局「労働力調査」より作成

◆最も増加率が高かったのは学術研究、専門・技術サービス業

産業別に就業者数を見ると、最も増加率が高いのは学術研究専門・技術サービス業であり、前年同月増減率9.7%増で23万人の増加となりました。一方、減少したのは建設業（1.3%減）、製造業（0.5%減）、生活関連サービス業（2.2%減）、教育・学習支援業（5.3%減）でした。

【主要産業別の就業者数・雇用者数】

		農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業
就業者	実数(万人)	215	469	1,051	256	348	1,073	169
	対前年同月増減数	6	-6	-5	7	7	63	11
	対前年同月増減率	2.9%	-1.3%	-0.5%	0.8%	2.1%	6.2%	7.0%
雇用者	実数(万人)	59	378	1,013	243	338	997	167
	対前年同月増減数	-2	-7	-3	7	6	64	12
	対前年同月増減率	-3.3%	-1.8%	-0.3%	3.0%	1.8%	6.9%	7.7%

		不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術 サービス業	宿泊業 飲食サービス業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療・福祉	サービス業 (他に分類されない)
就業者	実数(万人)	148	260	385	226	340	864	445
	対前年同月増減数	2	23	1	-5	-19	1	0
	対前年同月増減率	1.4%	9.7%	0.3%	-2.2%	-5.3%	0.1%	0.0%
雇用者	実数(万人)	131	207	330	164	313	835	400
	対前年同月増減数	-1	23	0	-13	-16	0	4
	対前年同月増減率	-0.8%	12.5%	0.0%	-7.3%	-4.9%	0.0%	1.0%

出典：総務省統計局「労働力調査」より作成

◆正規、非正規ともに雇用者数は増加

雇用者数を正規、非正規別に見ると、正規の職員・従業員数は3,594万人（前年同月比16万人増）となり、14カ月連続で増加しました。非正規の職員・従業員数は2,062万人（同19万人増）となり、4カ月連続で増加しました。

【雇用形態別雇用者数の推移】

	2020年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
役員を除く雇用者数(万人)	5,605	5,608	5,645	5,671	5,626	5,610	5,609	5,614	5,607	5,616	5,607	5,652	5,656
正規の職員・従業員(万人)	3,578	3,535	3,529	3,535	3,547	3,534	3,552	3,556	3,560	3,568	3,556	3,576	3,594
構成比	63.8%	63.0%	62.5%	62.3%	63.0%	63.0%	63.3%	63.3%	63.5%	63.5%	63.4%	63.3%	63.5%
対前年同月増減(万人)	52	38	48	9	21	16	36	26	54	5	22	15	16
非正規の職員・従業員(万人)	2,043	2,070	2,079	2,111	2,124	2,093	2,058	2,052	2,054	2,039	2,061	2,075	2,062
構成比	36.4%	36.9%	36.8%	37.2%	37.8%	37.3%	36.7%	36.6%	36.6%	36.3%	36.8%	36.7%	36.5%
対前年同月増減(万人)	-131	-120	-123	-85	-62	-86	-91	-107	-96	20	16	31	19

出典：総務省統計局「労働力調査」より作成

◆女性の完全失業者が前年同月よりも8万人減少

男女別に完全失業率を見ると、男性は前月と同じで3.1%でしたが、女性は0.3ポイント改善して2.4%になりました。完全失業者数は男性が前年同月よりも3万人増加しましたが、女性は8万人減少しています。年齢層別に完全失業率を見ると、35歳から44歳が前月と同じでしたが、それ以外はすべての年齢層で前月よりも改善しています。

【年齢階級別・男女別完全失業者数・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数 (万人)	対前年同月増減 (万人)	完全失業率 (季節調整値)	対前月増減 (ポイント)
総数	191	-6	2.8%	-0.1%
(男)	119	3	3.1%	0.0%
(女)	73	-8	2.4%	-0.3%
15歳～24歳	26	-4	4.2%	-0.3%
(男)	15	-1	5.3%	0.6%
(女)	11	-3	3.4%	-0.7%
25歳～34歳	43	-2	3.7%	-0.4%
(男)	26	1	4.1%	-0.7%
(女)	17	-3	3.2%	0.0%
35歳～44歳	33	-4	2.4%	0.0%
(男)	20	-2	2.6%	0.2%
(女)	13	-2	2.2%	-0.4%
45歳～54歳	39	0	2.4%	-0.2%
(男)	24	2	2.5%	0.2%
(女)	15	-2	2.2%	-0.6%
55歳～64歳	33	3	2.7%	-0.3%
(男)	21	2	3.0%	-0.2%
(女)	12	0	2.3%	-0.4%
65歳以上	17	1	1.8%	-0.3%
(男)	13	1	—	—
(女)	5	1	—	—

出典：総務省統計局「労働力調査」より作成

◆自発的な離職による完全失業者は前年同月よりも3万人減少

完全失業者数を求職理由別に見ると、勤め先や事業の都合による離職が前年同月比1万人増の39万人と増加に転じました。一方、自発的な離職者は4か月ぶりに減少に転じ、前年同月よりも3万人少ない71万人となりました。

【求職理由別完全失業者数の推移】

	2020年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
勤め先や事業の都合による離職(万人)	38	39	40	45	42	40	38	39	33	40	43	39	39
対前年同月増減(万人)	19	19	19	22	20	20	18	18	10	10	8	-2	1
定年または雇用契約終了による離職(万人)	19	22	26	25	20	21	22	18	15	25	24	21	19
対前年同月増減(万人)	1	5	9	12	5	7	6	3	-2	7	5	1	0
自発的な離職(自己都合)(万人)	74	75	79	84	67	71	72	68	70	75	79	77	71
対前年同月増減(万人)	4	2	6	11	4	9	3	-1	-1	4	6	5	-3
新たに求職	48	49	49	44	48	48	51	55	58	53	51	53	47
対前年同月増減(万人)	13	17	9	4	13	11	14	16	12	1	-3	3	-1

出典：総務省統計局「労働力調査」より作成

(2) 全体の有効求人倍率・新規求人倍率・正社員求人倍率の推移

◆有効求人倍率は0.02ポイント上昇して1.15倍

ハローワークにおける有効求人倍率(季節調整値)は前月より0.02ポイント上昇して1.15倍でした。労働需給の先行指標である新規求人倍率は前月より0.10ポイント低下して1.98倍になりました。正社員の有効求人倍率は前月と同じく0.94倍でした。

【ハローワークにおける有効求人倍率(パートタイムを含む/季節調整値)の推移】

	2020年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
有効求人倍率(倍)	1.09	1.05	1.04	1.04	1.05	1.05	1.10	1.09	1.10	1.09	1.09	1.13	1.15
新規求人倍率(倍)	1.70	1.83	1.97	1.84	2.04	2.11	2.03	1.88	1.99	1.82	2.09	2.08	1.98
正社員有効求人倍率(倍)	0.84	0.80	0.79	0.78	0.77	0.77	0.79	0.82	0.84	0.88	0.90	0.94	0.94

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(3) 職業別有効求人倍率の推移

◆ハローワークにおける専門的・技術的職業の有効求人倍率は前年同月を0.07ポイント上回って1.75倍となり、25カ月ぶりに上昇に転じました。

◆有効求人倍率が最も上昇したのは生産工程の職業で前年同月を0.50ポイント上回って1.64倍となり、次いで医療技術者が同0.45ポイント上回って2.79倍、建設・土木・測量技術者が同0.38ポイント上回って6.15倍となりました。

◆最も有効求人倍率が高いのは建築・土木・測量技術者の6.15倍、次いで建設・採掘の職業の5.42倍となっており、建設業関連の専門職の人手不足が依然として最も深刻となっています。

【ハローワークにおける職業別有効求人倍率(除くパート)の推移】

	2020年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
職業計	0.96	0.94	0.94	0.96	1.00	1.04	1.05	1.05	1.03	0.98	0.99	1.03	1.06
専門的・技術的職業	1.68	1.64	1.64	1.66	1.71	1.78	1.79	1.77	1.77	1.58	1.59	1.68	1.75
開発技術者	1.82	1.69	1.64	1.59	1.57	1.60	1.64	1.69	1.64	1.55	1.58	1.67	1.72
建築・土木・測量技術者	5.77	5.78	5.70	5.86	6.04	6.26	6.24	6.35	6.02	5.49	5.50	5.76	6.15
情報処理技術者	1.47	1.36	1.29	1.26	1.27	1.29	1.28	1.31	1.33	1.29	1.29	1.34	1.38
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	3.05	2.84	2.74	2.77	2.79	2.85	2.92	2.90	2.82	2.49	2.55	2.62	2.62
保健師、助産師、看護師	2.07	2.03	2.04	2.10	2.20	2.35	2.36	2.31	2.21	1.98	2.03	2.14	2.25
医療技術者	2.34	2.35	2.43	2.52	2.64	2.74	2.82	2.83	2.69	2.47	2.49	2.68	2.79
その他の保健医療の職業	1.55	1.50	1.51	1.57	1.64	1.68	1.62	1.63	1.55	1.50	1.48	1.56	1.64
社会福祉専門の職業	2.90	2.92	3.01	3.12	3.21	3.32	3.34	3.10	2.92	2.62	2.70	2.92	3.07
美術家、デザイナー、写真家	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19	0.20	0.19	0.18	0.19	0.18
事務的職業	0.30	0.29	0.29	0.29	0.30	0.31	0.32	0.33	0.33	0.30	0.30	0.31	0.33
販売の職業	1.44	1.41	1.36	1.35	1.41	1.47	1.49	1.49	1.46	1.40	1.41	1.47	1.49
サービスの職業	1.96	1.95	1.94	2.00	2.09	2.19	2.13	2.06	1.98	1.91	1.96	2.02	2.11
生産工程の職業	1.04	1.01	1.06	1.11	1.18	1.26	1.31	1.40	1.41	1.43	1.48	1.59	1.64
輸送・機械運転の職業	1.74	1.71	1.73	1.78	1.84	1.90	1.88	1.89	1.86	1.81	1.83	1.87	1.87
建設・採掘の職業	5.37	5.37	5.37	5.49	5.68	5.76	5.53	5.58	5.33	5.10	5.18	5.37	5.42

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

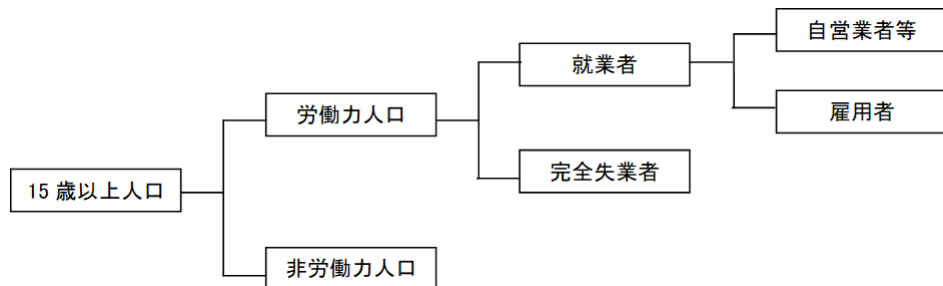
【職業別有効求人倍率（除くパート）の対前年同月比】

	2020年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
職業計	-0.44	-0.47	-0.48	-0.47	-0.46	-0.47	-0.35	-0.29	-0.22	-0.14	-0.03	0.05	0.10
専門的・技術的職業	-0.50	-0.57	-0.59	-0.59	-0.62	-0.67	-0.53	-0.44	-0.29	-0.25	-0.14	-0.02	0.07
開発技術者	-0.54	-0.71	-0.77	-0.68	-0.79	-0.80	-0.65	-0.54	-0.49	-0.43	-0.34	-0.22	-0.10
建築・土木・測量技術者	-0.98	-1.03	-1.19	-1.17	-1.30	-1.24	-0.62	-0.30	-0.09	0.00	0.08	0.20	0.38
情報処理技術者	-0.97	-1.09	-1.17	-1.15	-1.15	-1.18	-1.02	-0.86	-0.75	-0.58	-0.37	-0.21	-0.09
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	-1.42	-1.59	-1.71	-1.69	-1.87	-2.05	-1.84	-1.61	-1.58	-1.32	-1.00	-0.61	-0.43
保健師、助産師、看護師	-0.25	-0.32	-0.32	-0.37	-0.43	-0.50	-0.33	-0.29	-0.24	-0.20	-0.09	0.02	0.18
医療技術者	-0.71	-0.83	-0.69	-0.65	-0.63	-0.68	-0.38	-0.27	-0.22	-0.06	0.17	0.39	0.45
その他の保健医療の職業	-0.63	-0.71	-0.74	-0.71	-0.68	-0.72	-0.70	-0.66	-0.59	-0.41	-0.25	-0.02	0.09
社会福祉専門の職業	-0.32	-0.40	-0.41	-0.31	-0.37	-0.60	-0.39	-0.26	-0.16	-0.11	-0.02	0.13	0.17
美術家、デザイナー、写真家	-0.21	-0.21	-0.20	-0.20	-0.20	-0.20	-0.18	-0.17	-0.12	-0.07	-0.03	-0.01	-0.01
事務的職業	-0.15	-0.16	-0.17	-0.18	-0.17	-0.17	-0.15	-0.13	-0.10	-0.06	-0.02	0.00	0.03
販売の職業	-0.56	-0.60	-0.66	-0.67	-0.67	-0.68	-0.57	-0.62	-0.57	-0.39	-0.14	0.00	0.05
サービスの職業	-1.10	-1.16	-1.16	-1.13	-1.09	-1.14	-0.98	-0.96	-0.83	-0.54	-0.16	0.05	0.15
生産工程の職業	-0.64	-0.67	-0.62	-0.55	-0.49	-0.42	-0.25	-0.14	-0.06	0.07	0.28	0.50	0.60
輸送・機械運転の職業	-0.87	-0.92	-0.92	-0.91	-0.97	-0.98	-0.80	-0.69	-0.52	-0.29	-0.06	0.10	0.13
建設・採掘の職業	-0.23	-0.36	-0.44	-0.43	-0.49	-0.41	-0.04	0.12	0.11	-0.02	0.02	0.11	0.05

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

<用語解説>

1. 労働力人口・就業者・雇用者・完全失業者



* 労働力人口

15歳以上で働く意思と能力を持つ者。

* 非労働力人口

15歳以上で働く意思や能力のない者。

* 就業者

賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入（現物収入を含む。）になる仕事を少しでもした者。

* 完全失業者

仕事がなくして仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者、および仕事があればすぐに就ける状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者。

* 自営業者

株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている者。

* 雇用者

会社・団体・官公庁または自営業主や個人の家庭に雇われて給料・賃金を得ている者。

2. 就業率

「15歳以上の人口」に占める「就業者」の割合

3. 完全失業率

「労働力人口」に占める「完全失業者数」の割合

4. 有効求人倍率

有効求人数／有効求職者数（倍）

5. 新規求人倍率

新規求人数／新規求職者数（倍）

* 「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。

6. 充足率

$(\text{就職件数} / \text{新規求人数}) \times 100 (\%)$

■このレポートに関する問合せ■

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1 階
ヒューマンリソシア株式会社 建設HR編集部 Mail:hrsouken@athuman.com